



# 国際競争力強化のための知財戦略

## 法律実務家の立場から

2008年6月14日

永代総合法律事務所  
弁護士 林 いづみ

# グローバルなオープンイノベーションへ 国際標準化の重要性と課題

国際競争力強化には「**変革**」が必須

👉 知財「**経営**」する  
資源をいかにうまく活用して成長するか

👉 仕組みを動かす「**人**」が鍵

# 1. 検討の視点

何のための国際競争力強化なのか (脱ゼロ・サムゲーム)  
どういう観点からの国際競争力なのか  
日本の強みと弱みは何かの見極め (弱 強サイクル)

“インフラの主導権をとるのが弱く、日本のシステムが国際的に通用しなくなっている”？

- ◆ パテントプールという解決策の意義、展望と課題
- ◆ 放送と通信の融合に向けた改革の必要性 (インターネットを通じたデジタル・コンテンツの発信・流通ビジネスモデル)

## 2. 国際競争力の観点～知財関係

### (1) 資源: 資源の豊かさは生産性向上を遅らす

- 希少資源 : 代替技術・リサイクル技術の研究

### (2) 国際標準 (Global Standard) と各国の規制 :

- 技術標準
- 欧州の環境規制 (RoHS、REACH (Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals 化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規則) 等、IEC/TC111における標準化動向 (環境配慮設計に関わる国際的な標準化))
- 温暖化対策

### (3) 人材: リーダーシップとは

# (1) 希少資源の代替技術・リサイクル技術の研究

- **レアガス：**

例 ネオンガス、キセノン プラズマディスプレイ(TV)  
クリプトンガス レーザー(半導体製造のリソグラフィ)

- **レアメタル：**

例：ネオジウム ハイブリッド車の高性能モーター  
インジウム 液晶パネルの透明電極  
プラチナ、パラジウム 自動車の排ガス浄化触媒、燃料電池  
ガリウム 青色発光、化合物半導体  
リチウム 電池

半導レーザー、発光ダイオード、燃料電池、永久磁石、超伝導材料、  
光触媒、磁気光学媒体、光通信用のフッ化ガラス、ニューセラミック  
スなど。